価要

素

#### 指定管理者による公の施設の管理状況評価(令和2年度分)

	名 称	栃木市岩舟農村環境改善センター			
施	<b>所 在 地</b> 栃木市岩舟町下津原1572-1				
設 施設内容 農村理		農村環境改善センター(多目的施設)			
指	名 称	株式会社 観光農園いわふね			
定	所 在 地	栃木市岩舟町下津原1585			
定 管 理 主な業務内容		・農産物の生産、販売 ・農産物の直売施設の設置運営 ・観光農園の経営 他			

#### (1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

- ① 施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
- ② 施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮が なされているか
- ③ アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
- ④ 利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管	指標名	計画値	実績値
理状	アンケート数	50件	57件
<del>1</del> 2	利用者意見反映数	3件	6件
評価	利用案内掲示数	4か所	4か所
指	利用者満足率	80%	80%
標	業務改善数	3件	3件

	配点評	第1次評	第1次評価(指定管理者評価)		第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
価	25	П	0.8	20	П	0.8	20

- ・施設運営の基本方針を従業員全員の共通理解として、業務を遂行しています。
- ・市民・市外利用者問わず、施設を利用されるすべての方が利用しやすいように、状況に応じて サービス面に配慮した対応をしています。
- ・利用者からのアンケートや意見箱に投函された内容には、スタッフ間で情報を共有するととも に適切に対応し、改善できる点は適宜処理を進め、施設所管課に連絡しています。

## コメント

設

所

管課コメ

指

定

管

理

者

- ・施設内に指定管理者である観光農園いわふね及び栃木市観光協会岩舟支部の事務所が入っており、会議室等の利用者以外も多く出入りする施設であるが、連携して施設の運営を行っています。
- ・目立った苦情もなく、利用者が気持ちよく利用しやすい施設運営がされています。

#### (2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み

① |施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか

L価要t

- ② 広報活動等(広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等)による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか
- ③ 開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか
- ④ 地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める 取組みを行っているか

管	指標名	計画値	実績値
理状	利用者数	7, 700人	7, 910人
<b>公</b> 況	地域との協働事業数	3回	0回
評価	協働等事業参加者数	延べ10人	0人
指			
標			

	配点	第1次評	第1次評価(指定管理者評価)		第2次評価(施設所管課評価)		
評	化加	評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
価	20	IV	0. 4	8	IV	0. 4	8

指定管理者コメ

- ・コロナウィルス感染拡大防止の緊急事態宣言で休館要請が生じ、開館日が減少したが、新規 サークルの定期的な利用があり、計画値を上回る結果となりました。
- ・栃木市観光協会岩舟支部と共催にて例年、当社開催のフルーツ狩りのイベントを実施していましたが、コロナ禍のイベント自粛により、今年度は開催ができませんでした。今後は、感染対策の徹底をしたうえで、どのような形でイベントが開催できるか協議していきます。
- ・地域ゆかりの円仁の資料などを展示するとともに近隣施設のパンフレット等を置き、市内外から訪れる観光客等への情報発信に努めています。

施設所管課コメ

ント

・今年度は、利用者数が計画値を達成しており、新型コロナウイルス対策を十分にとった上で、 引き続き利用者に寄り添った運営をお願いしたいです。今後は既存利用者だけではなく、新規利 用者の増加に向けても取組んでいただきたいです。

#### (3) 施設経費の削減の取組み

① 指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか

### L価要:

- ② サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか
- ③ 清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合せなど、経費節減等に考慮して適切に行っているか
- ④ 施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入 など環境への配慮も適切に行っているか

管	指標名	計画値	実績値
理状	経費削減額	128, 300円	499, 791円
況	経費削減率	△2.0%	△8. 4%
評価指	見積合わせ実施数	3件	2件
指			
標			

	配点評	第1次評	第1次評価(指定管理者評価)		第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
価	15	П	0.8	12	П	0.8	12

- ・利用料金の徴収を適正に行っています。減免対象者にも同様に対応しています。
- | ・夜間時の受付事務は、昨年度まで、シルバー人材センターに管理をゆだねておりましたが、当 | 社社員を専任にしたことにより、支出を些少なりとも削減する取り組みを実施しました。
- ┃・清掃業務もトイレ掃除や軽微な修繕は社員が行い、経費削減に努めています。
- ・今年度実績の数値は、市の予算による修繕箇所の支出があり計画値より大きく削減できましたが、年間を通してみると経年劣化による修繕箇所は今後も増えてくる可能性があります。来年度 は内容をさらに精査し、削減に努めていきます。

# 施設所管課コメ

ント

理

コメ

- ・外注費用の見直し等経費の節減がなされています。
- ・今後とも、必要な経費の見直しを通して経費削減に取り組んでいただきたいです。

#### (4) 施設の管理を安定して行うための取組み |施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか 2 評 価 (3) 職員の福利厚生は充実しているか 要 素 **(4) |各種税金や社会保険料等は適切に納められているか** |団体の財政状況等は健全であるか | <別紙参照> 指標名 計画値 実績値 理 人員配置数 4人 4人 状 研修会開催数 1回 1回 況 評 5人 5人 研修会参加者数 価 勤務時間数(1人当り) 40時間/週 40時間/週 指 100% 19.8% 経常収支比率 第1次評価(指定管理者評価) 第2次評価 (施設所管課評価) 配点 評価ランク 評価指数 評価点 評価ランク 評価指数 評価点 評 価 20 12 $\mathbf{III}$ 0.6 $\mathbf{III}$ 0.6 12 ・管理運営に支障がでないように常に人員配置しています。 指 受付業務については、同施設内の栃木市観光協会岩舟支部でも対応ができるように提携していま 定 ・業務開始前に打ち合わせを行い、スタッフ間での各種情報交換や基本サービスの統一を図って 理者 います。 コメ ント ・施設の管理運営を実施していくために、適正な人員配置および研修がされています。 ・従業員間及び委託している観光協会岩舟支部とも情報を共有し、連携して業務遂行に努めてい ます。 所 管課 コメ ント

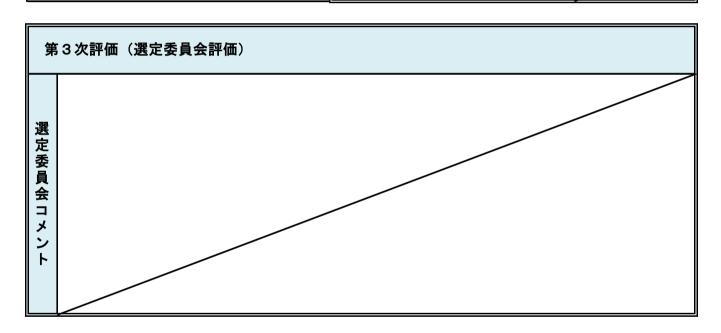
#### 別紙 1 (5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか 緊急時の危機管理体制等が確立されているか 2 価 要 | 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか (3) ④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか 指標名 計画値 実績値 理 安全点検実施回数 2回/年 2回/年 状 0件 0件 事故発生件数 況 評 訓練実施回数 1回 1回 価 訓練参加者数 20人 20人 指 第1次評価(指定管理者評価) 第2次評価(施設所管課評価) 配点 評価指数 評価指数 評価ランク 評価点 評価ランク 評価点 評 価 20 0.8 16 0.8 16 $\Pi$ $\Pi$ 日常の安全点検は、利用者が安全で快適に利用できるよう毎日社員が実施しました。 ・併設する「いわふねフルーツパークセンター」と併せて防火管理者を定める等、事故防止に努 めています。AEDの設置もあり、同施設に関係する職員及び各施設従業員と合同で開催しまし 理 ・個人情報保護法の方針に従い、適切に行っています。 者 コメ ・日常の点検が、しっかりされています。 施 ・防火管理者を定め、緊急時の訓練を行うなど、非常時の備えを整えています。 設 所

管課

コメント

#### 別紙 1

評価結果	配点	第 1 次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1)平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2)施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	8	8	
(3)施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4)施設の管理を安定して 行うための取組み	20	12	12	
(5)施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	16	
評価点合計	100	68	68	
総合評価		С	С	



#### (4) 施設の管理を安定して行うための取組み

#### ⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	3年3月	2年3月	31年3月
資産総額	104, 857, 586	109, 822, 815	71, 248, 227
売上高	169, 794, 962	124, 352, 863	157, 094, 307
経常利益	△51, 522, 236	△ 44, 172, 635	△9, 522, 978
当期利益	△51, 853, 336	△ 44, 503, 735	△9, 732, 478
経常収支比率	19. 8%	27. 7%	48. 7%

#### ※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	3年3月	2年3月	31年3月
経常費用	95, 405, 316	77, 508, 388	67, 413, 107
経常収益	18, 878, 534	21, 492, 047	32, 807, 101
経常収支比率	19.8%	27. 7%	48. 7%

〇経常収益(営業収益+営業外収益) - 経常費用(営業費用+営業外費用) × 100で求めます。

#### 指定管理者コメント

企業母体としての経常収支比率は、厳しい結果となったが、指定管理を運営していく上で、経年劣化による修繕費また維持補修費の支出が否めないところだが、今後も計画性を 持ち所管課のアドバイスを受け、さらなる企業努力をしていきたい。